



TOTO

アクアオート単水栓(機能部一体タイプ)

TEL24型
TEL25型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただけ、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

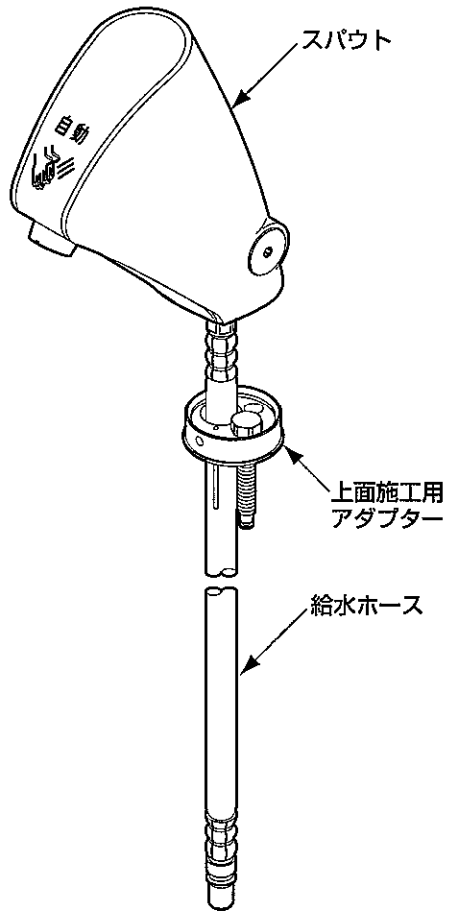
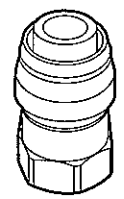
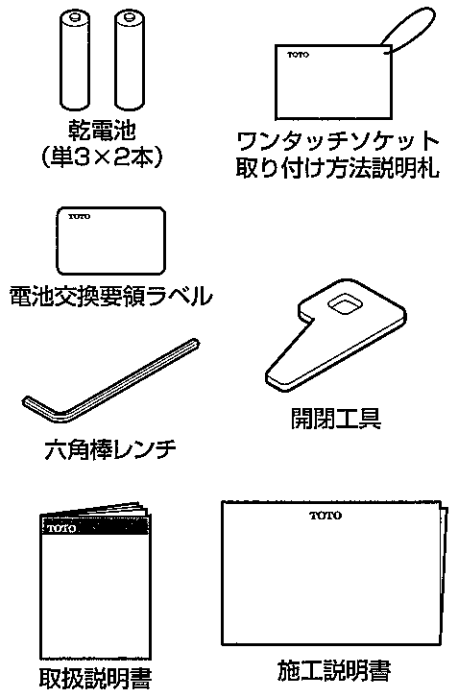
	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	ふる、シャワーなどの「水場での使用禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

注意		
	浴室など湿気が多い場所には設置しないでください。 故障・感電の原因になります。	
	修理技術者以外の方は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わないでください。 故障や水漏れの原因になります。	
	強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。	

注意		
	新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。 電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因になります。	
	屋外や凍結が予想される場所には設置しないでください。 故障の原因または、部品が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 凍結のおそれがある場合は、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。 凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。	
	必ず実行 フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターをゆるめずに、止水栓を閉めてから行ってください。 湯水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

2 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

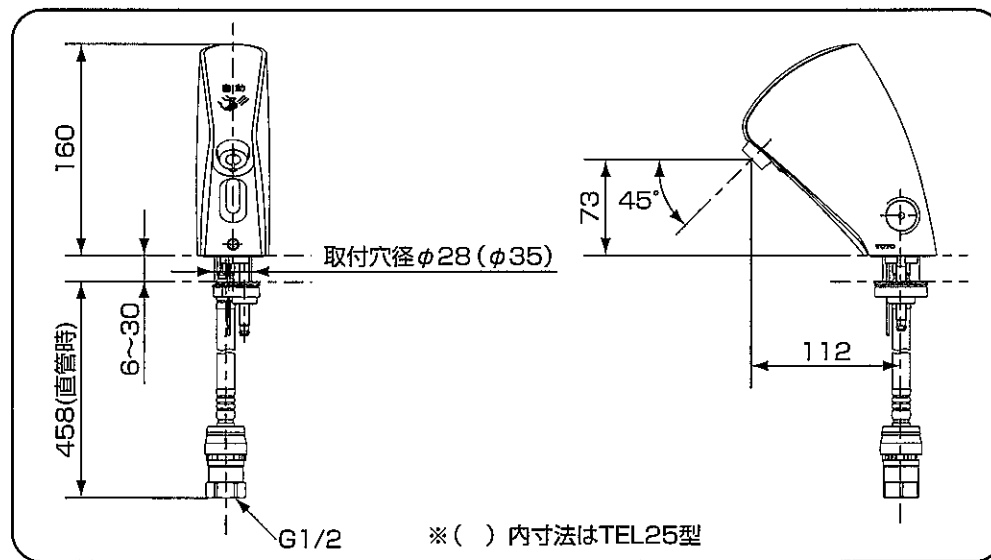
水栓本体部	ワンタッチソケット
	
	<p>その他</p> 

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

3 仕様

電源	乾電池	アルカリ乾電池 DC3Vタイプ
乾電池寿命		月4,000回の使用で約2年 (省エネモード12時間/日使用時)
給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa (流動圧)
	最高水圧	0.75MPa (静水圧)
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		1℃~55℃
給水部接続		G1/2
吐水流量		定流量弁 (5L/分用) により上限カット 必要に応じて止水栓にて流量調節可能
感知距離		学習方式による感知距離変化型
用途		パブリックおよび一般住宅洗面所用

4 完成図



5-1

取り付け前に

1. 共通項目

- 給水圧力範囲は、0.05~0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の水圧をおすすめします。
- 乾電池タイプですので、配線工事は不要です。
付属の電池をご使用ください。
- センサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- ステンレス製およびメッキを施した手洗器や洗面器にはご使用できません。
(誤作動するおそれがあります。)
- アクアオートは屋内用ですので、屋外では使用しないでください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。

2. 新規取り付けの場合

取り付ける陶器に合わせて以下の排水金具、止水栓、バックハンガー、取り付け金具、ブラケットまたはフレームが必要となります。ご確認のうえ、別途お求めください。

TEL24DPX (ポップアップ無し) の場合						TEL25DPX (ポップアップ有り) の場合						
排水金具一覧						排水金具一覧						
手洗器 洗面器	排水金具・壁排水 〔 〕は床排水	止水栓	バック ハンガー	取付 金具	ブラケット またはフレーム	手洗器 洗面器	排水金具・壁排水 〔 〕は床排水	止水栓	バック ハンガー	取付 金具	ブラケット またはフレーム	
L5B L5D	T22P [T22S]	TL340C5U [T4B11U]	TL10D (TL10DAY)	TA2Sx2		L210C	T7P1 [T7S1]	TL340C5U [T4B11U]	TL250D (TL250DAY)			
L7	T6P [T6S]					TA2Sx4	L210CM					T7P2 [T7S4]
L10D	T22BP [T22BS]					TL220D (TL220DAY)	L250C					T7P1 [T7S1]
L30D L30DM						TL250D (TL250DAY)	L250CM					T7P2 [T7S4]
L103A	T7P24						L260C					T7P1 [T7S1]
L210D L210DM	T6BMP [T6BMS]						L260CM					T7P2 [T7S4]
			L270C									

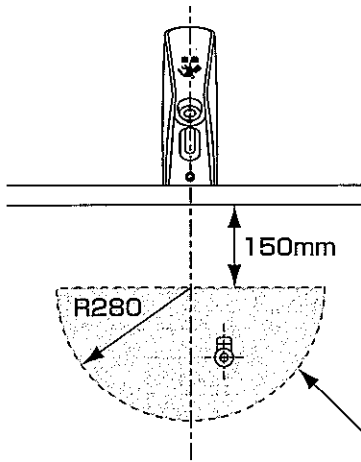
TEL24DPX (ポップアップ無し) の場合						TEL25DPX (ポップアップ有り) の場合							
排水金具一覧						排水金具一覧							
手洗器 洗面器	排水金具・壁排水 〔 〕は床排水	止水栓	バック ハンガー	取付 金具	ブラケット またはフレーム	手洗器 洗面器	排水金具・壁排水 〔 〕は床排水	止水栓	バック ハンガー	取付 金具	ブラケット またはフレーム		
L230S L230DS	T6P [T6S]	TL340C5U [T4B11U]	TL220D (TL220DAY)	TL830D	TK507	L330	T7P7 [T7S8]	TL340C5U [T4B11U]					
L250A L250AM	T7P18 [T7S22]					TL250D (TL250DAY)	L331RC					T7P1 [T7S1]	
L250D L250DM	T6BMP [T6BMS]					TL220D (TL220DAY)	L507CU						
L270D L270DM							L521C					T7P9 [T7S10]	
L331RA	T7P19 [T7S3N]						L525CU					T7P10 [T7S11]	TK525 (フレーム)
L507AU							L537U					T7P10 (T7P10) [T7S11]	
L594U ※1	TL594BP [TL60NS] ※2						L546U					T7P11 (T7P11) [T7S12]	
L832DRU	TL594BP [TL60NS]						L548U					T7P11 (T7P11) [T7S12]	
							L581CU						※3 TL516G (ブラケット)
							L582CS					T7P10 (T7P10) [T7S11]	
			L589C L589CM										
			L830CRU L830CMRU	T7P5 [T7S7]									
			L851CU	T7P10 [T7S11]									

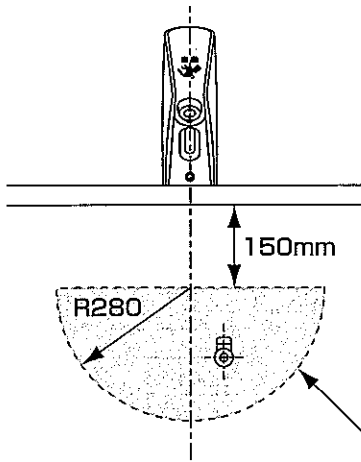
- ()はMLの場合。
 ※1：L594Uはマーブライトカウンター専用。
 ※2：ブラケット式用の場合。
 ※3：市販カウンターとセットする場合。

3. 取り替えの場合

<取り付け条件>

次の3つの条件を満たす陶器やカウンターに取り付けが可能です。

① 止水栓の位置が下図  に示す範囲にあること。



この範囲内に止水栓があること

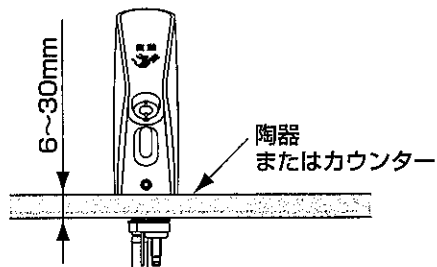
② 取り付ける陶器またはカウンターの取付穴径が下表の範囲であること。

TEL24DPXの場合	$\phi 28^{+1}_{-3} \text{mm}$
TEL25DPXの場合	$\phi 35 \pm 2 \text{mm}$

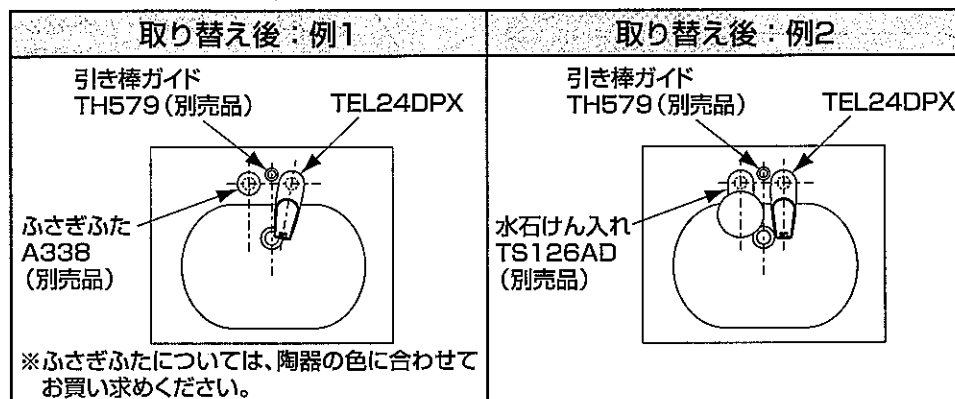
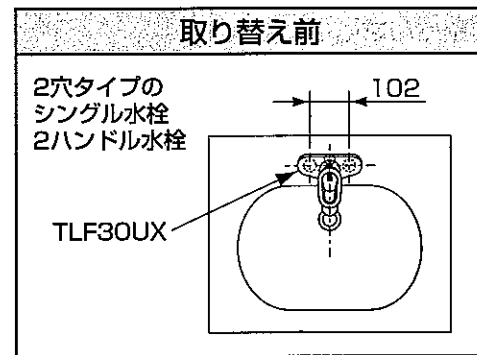
③ 取り付ける陶器またはカウンターの厚さが6~30mmであること。

注意

薄い陶器またはカウンターに直接取り付けると、取り付け面が割れるおそれがあります。
取り付け面が薄い場合には、下面より固めの補強板（合板）を添えて取り付けてください。



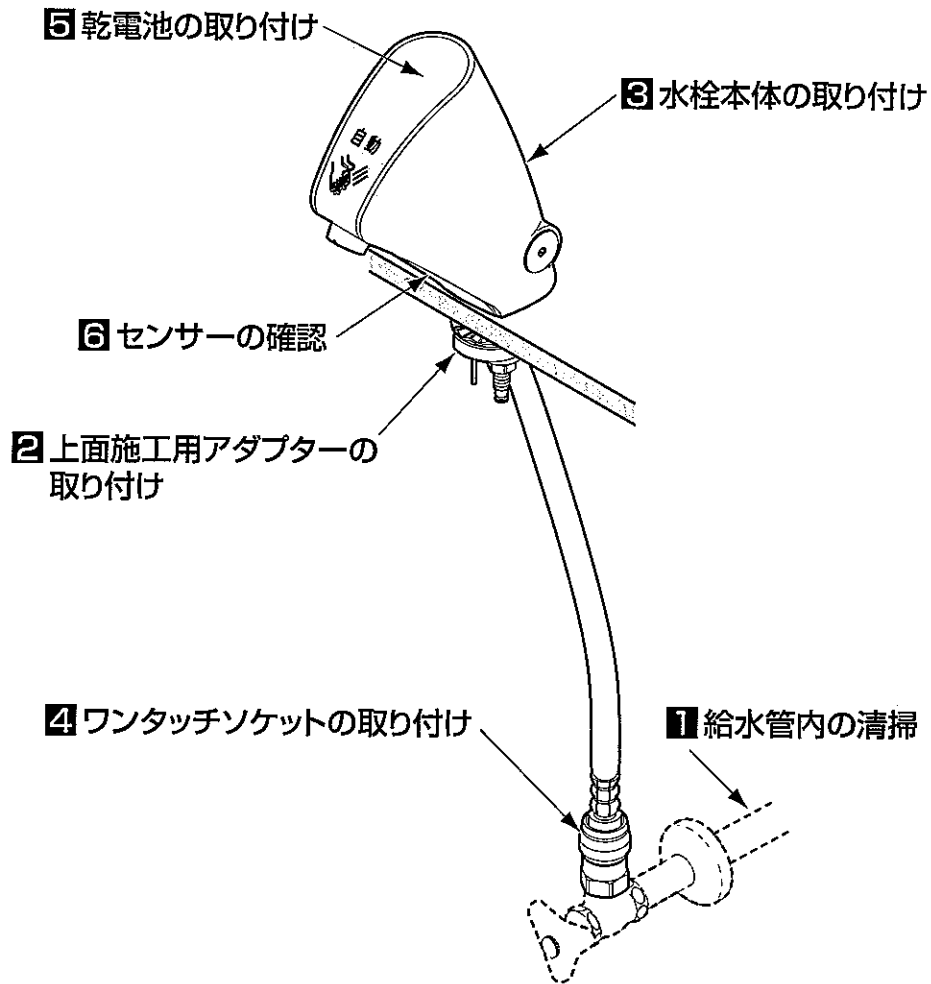
<取り替え例>



注意

- 自動水栓以外の商品については別途ご用意ください。
- お使いの引き棒が使えない場合にはTH578-2R（別売品）をお買い求めのうえ、現場にて適当な長さに切ってお使いください。
なお他社メーカーの排水金具については、引き棒ガイドや引き棒がつけられない場合があります。

6-1 施工手順



1 給水管内の清掃

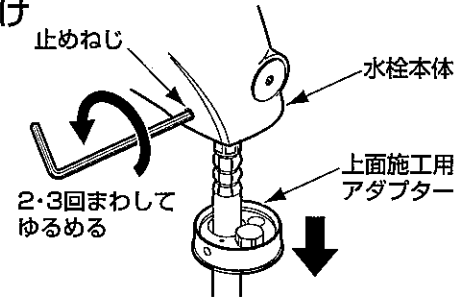
取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

2 上面施工用アダプターの取り付け

- ① 水栓本体下部の止めねじをゆるめる。
- ② 上面施工用アダプターを本体から外す。

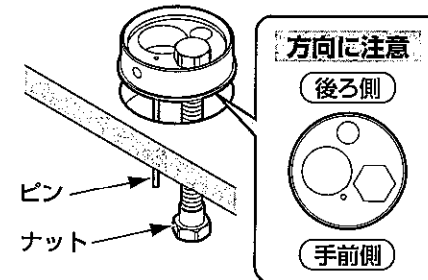
止めねじは外さないでください。



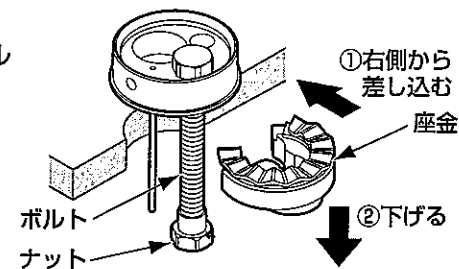
- ③ 上面施工用アダプターをカウンターの穴に差し込む。

注意

- 上面施工用アダプターの方向に十分に注意してください。
- ナットは、ボルトの先端部にあることを確認してください。



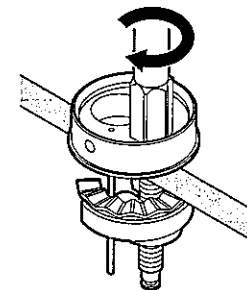
- ④ カウンター下部より座金を右側からボルトに差し込む。
- ⑤ 座金がナットにあたるまで下げる。



- ⑥ ボルトを締め付け、上面施工用アダプターに確実に固定する。

ボルトの締め付け用として別売で専用工具(TZ40L)を準備しておりますが下記一般工具でも取り付け可能です。

- ① ソケットレンチ (対辺13mm)
- ② T型レンチ (//)
- ③ ナットスピナーハンドル (//)



3 水栓本体の取り付け

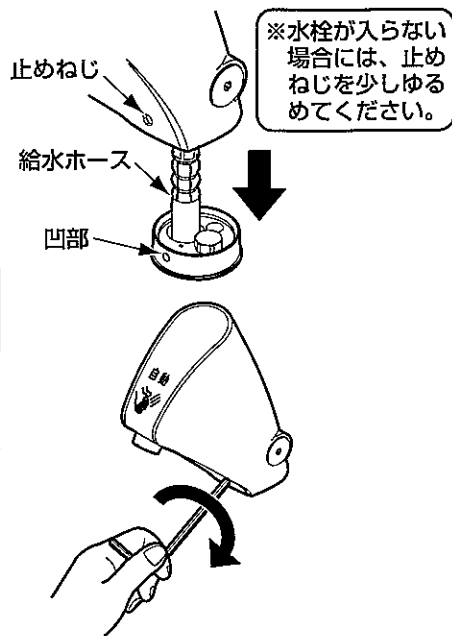
①給水ホースを通す。

②水栓本体の止めねじと上面施工用アダプターの凹部をあわせるようにしっかり差し込む。

注意

水栓本体に浮きがないよう注意してください。

③水栓本体の止めねじを締めて水栓本体を固定する。



4 ワンタッチソケットの取り付け

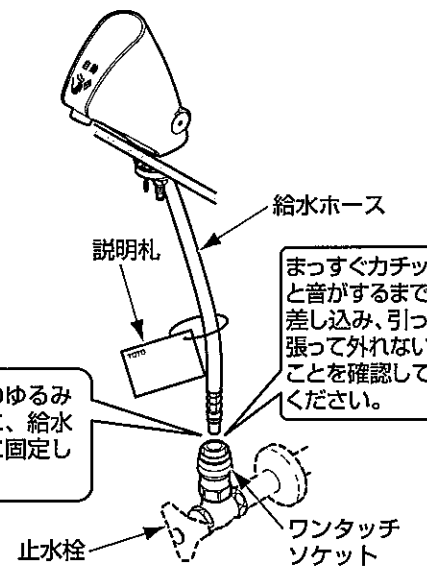
①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

②給水ホースに異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットにまっすぐ奥まで(カチッと音がするまで)確実に差し込む。

※この際、同梱の「ワンタッチソケット取り付け方法」の説明札を必ずホースに通してください。

給水ホースのゆるみ防止のために、給水配管は確実に固定してください。

まっすぐカチッと音がするまで差し込み、引っ張って外れないことを確認してください。



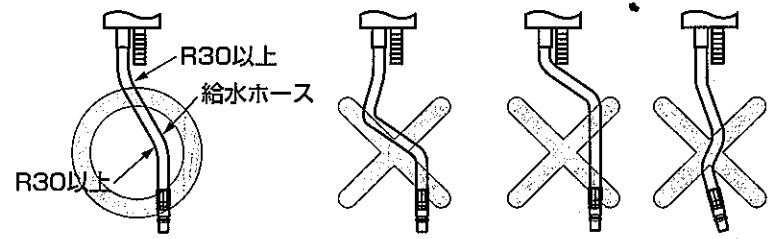
取り付け後の確認 **重要**

- ホースをまっすぐ引っ張って外れないこと
- 奥まで確実に差し込まれていること

＜ワンタッチソケットを取り外す場合＞

給水ホース施工上の注意点

- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。万一折れた場合は、指でつまんで元どおりにしてください。
- ホースの折れに、ご注意ください。ホースの最小曲げ半径は30mmです。それよりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れ、折れた部分で早期破損を生じる可能性があります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。



5 乾電池の取り付け

- ①止水栓を閉める。
- ②吐水口下のねじをゆるめる。
- ③カバーを手前にずらして、つめをはずす。
- ④カバーを上を持ち上げて、カバーを外す。
- ⑤リングを引っ張り、乾電池カバーを引き出す。

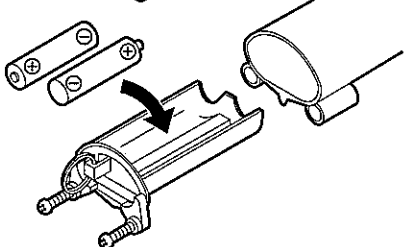
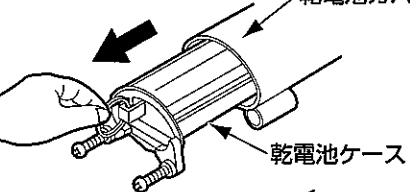
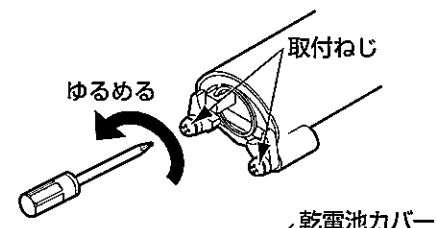
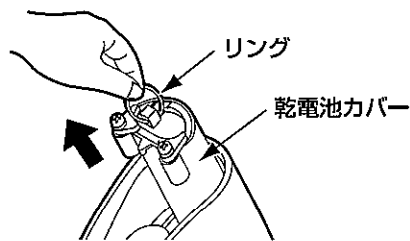
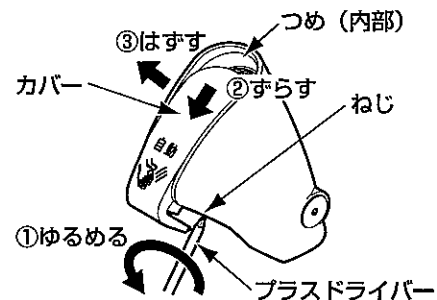
注意

強く引っばると乾電池カバーに接続されているコードが切れるおそれがあります。

- ⑥乾電池カバーの取付ねじをゆるめる。
- ⑦リングを引っばって乾電池ケースを引き出す。
- ⑧アルカリ乾電池単3×2本を乾電池ケースに乗せて、乾電池カバーに差し込む。
- ⑨取り付けねじを締め付け、乾電池カバーを本体に取める。

注意

- 乾電池の方向に注意してください。
- 乾電池ケースは確実に差し込んでください。
- 乾電池を入れるときは、乾電池カバー内に水が入らないようにしてください。
- 乾電池を入れるとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内にものを置いたりしないでください。
(約20秒間でこの動作は完了します)
- コード類のかみこみには注意してください。



6 センサーの確認

- ①センサー内に手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態で、スパウトのセンサー内ランプが点滅していないことを確認する。
※もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変え、点滅しないところに調整してください。

注意

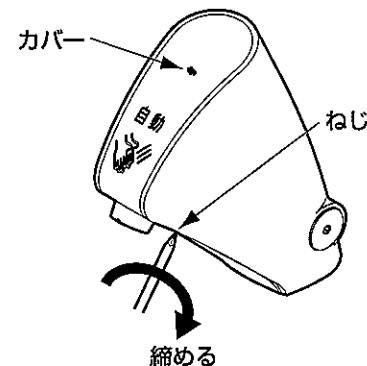
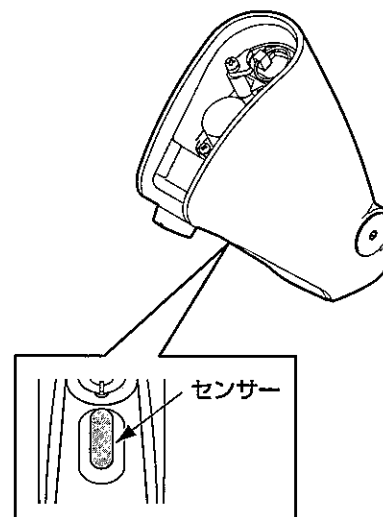
センサー内ランプの確認をする際は、必ずセンサーを陶器のボウル面中心に向けてください。

- ※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。自動で点滅が消えるまでにスパウトの向きの調整作業が完了しなかった場合は、乾電池を取り付け直してください。

注意

陶器の種類によっては、センサー内ランプの点滅が消えないことがあります。その場合はそのまま設定してください。
(ランプの点滅は約10分後に消えます)

- ②カバーを取り付けて、吐水口下のねじを締め付けます。
- ③乾電池交換要領ラベルを本体側面または、壁などの目立つ所に必要に応じて貼る。



7 試運転および調節

1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

① 水漏れの確認

止水栓を開き、ワンタッチソケットや給水ホースの接続部から水漏れがないか確認してください。

② 水を出す・止める

- 吐水口に手を近づけると水が出ます。
- 手を離すと約1~2秒後に水が止まります。
- 設置後すぐは、エアーがみにより流れが乱れることがあります。その場合は、数回水を出し止めてください。
- 手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。
(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で水が止まります)

●乾電池をセットしてすぐは、感知距離を自動設定しています。
電池を入れてから約20秒待つて使い始めてください。

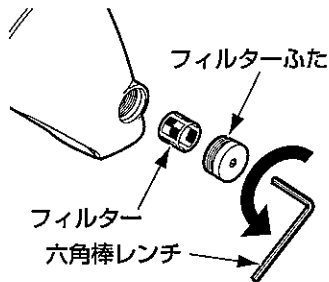
※正常に動作しない場合は、「**8** 施工手順」の「**5** 乾電池の取り付け」から再度ご確認ください。

2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、**止水栓を閉め**
たあと、フィルターふたを外してください。

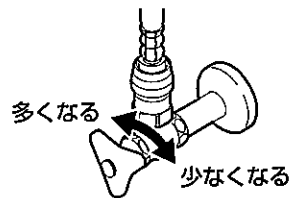


3. 流量の調節

機能部内部に、定流量弁(5L/分)を内蔵していますので、流量の調節は不要です。

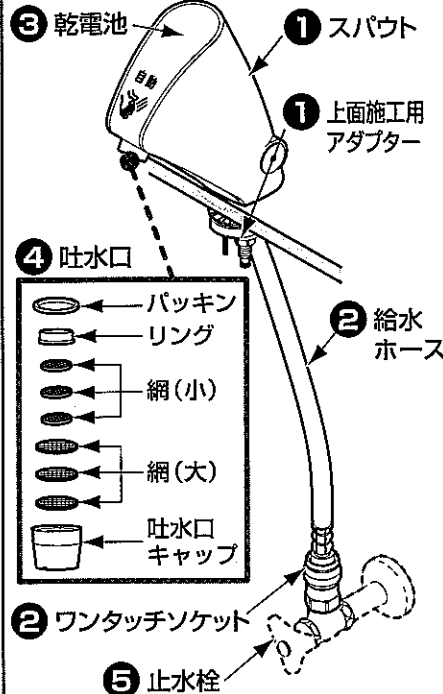
止水栓は全開 でご利用ください。

ただし、水の勢が強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、止水栓を回して流量を調節してください。



8 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① スパウトのガタツキはないですか?

- ↳ **6-1** - **2** 「上面施工用アダプターの取り付け」参照
- 6-2** - **3** 「水栓本体の取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

② 給水ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか?

- ↳ **6-2** - **4** 「ワンタッチソケットの取り付け」参照

動作の確認

③ 乾電池は入っていますか?

③ 乾電池の向きは正しいですか?

- ↳ **6-3** - **5** 「乾電池の取り付け」参照

流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

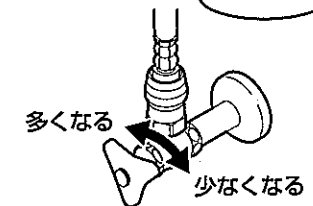
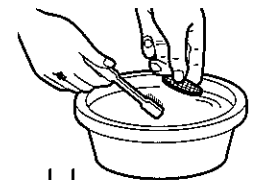
④ 吐水口のごみ詰まりはないですか?

- ↳ 吐水口の掃除をする。

⑤ 止水栓は開いていますか?

⑥ 水の勢いは強くありませんか?

- ↳ **7** - **3** 流量の調節 参照



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。再生紙を使用しています。